



採血スピッツの順番一覧表 (真空管・シリンジ別)

採血方法	順番	理由・ポイント
真空管 採血	生化学（茶）→凝固（黒）→血算（紫）→血糖（灰）	組織液混入の影響を最小限にし、正確な検査値を得るため
シリンジ 採血	凝固（黒）→血算（紫）→血糖（灰）→生化学（茶）	血液凝固を防ぎ、抗凝固剤と迅速に混和させる必要があるため
翼状針使 用時	ダミー管→生化学（茶）→凝固（黒）→血算（紫）→血糖（灰）	デッドスペース分を補うためダミー管を使用。施設ルールで「生化学優先」の場合もあり要確認

採血スピッツの必要量早見表

スピッツ種類	必要量	主な検査内容
生化学スピッツ（茶色）	3～5mL	酵素検査、電解質検査、脂質検査など
凝固スピッツ（黒色）	1.8mL	PT・APTT、DICなどの凝固機能検査
血算スピッツ（紫色）	2mL	血球算定、血液一般検査
血糖スピッツ（灰色）	2mL	血糖値測定、HbA1c